



コンサルテ瀬田便り

新型インフルエンザに警戒を！

WHO(世界保健機関)パンデミックを警戒！

4月29日、世界保健機関のチャン事務局長は、新型インフルエンザに対する警戒レベルを「フェーズ4」から「フェーズ5」に引き上げることがを宣言し、インフルエンザは急速に拡大する可能性があり、パンデミック(世界的大流行)を阻止する真剣な対策をおこなうよう呼びかけました。

警戒レベルの「フェーズ」は1～6まで規定されており、「フェーズ4」はく動物、または人と動物のインフルエンザ混合ウイルスが、人から人への感染を継続して地域単位で起こしていることを確認。大流行に移行する可能性がある>段階であり、「フェーズ5」はくそのウイルスによる地域単位の感染が、一つの WHO 管轄地域内の二カ国以上で起きており、大流行直前の兆候がある>段階とされています。「フェーズ6」はく大流行。フェーズ5の状況に加えて、別の WHO 管轄地域内でも一つ以上の国で地域単位の流行が起きている>段階とされています。

政府では、首相を本部長とする対策本部を設置、発生国からの旅客機・船舶の内部での検疫を実施するなど、水際での防止対策に必死になっていますが、連休明けの帰国ラッシュは13万人。一層の感染の進行が心配される状況が続いています。滋賀県も警戒と防止策を徹底するよう強く呼びかけており、このほどコンサルテ瀬田では、下記対策を実施することになりました。なお、ウイルスの拡散を防止するには湿度の確保が重視されることから、施設では加湿器の再稼働を行うとともに、4月末で閉鎖したカンファ水の空中散布も再開することに決定し、既に実施されています。各居室の洗面台の水張りも室内湿度の維持に有効ですので実施しています。

また、介護を直接担当するケアワーカーには、体温が38℃を超える発熱が起きた場合は、業務を直ちに停止し加療・休養する業務命令が出されています。万一、感染があった場合は全てのレクレーションを中止しますので、ご家族の方々にも一層のご理解ご協力をお願いいたします。

1. 体調不良(咳、鼻水、発熱など)である場合は面会をご遠慮いただきます。
2. 御面会前に、玄関に置いてある消毒機で、手の消毒をお願いいたします。
3. 入居者様にお会いになる前に、手洗い、うがいをお願いいたします。
4. 受付にてマスクを配布いたしておりますので、着用願います。
5. 最近、海外へ渡航された方は事前に受付へご連絡ください。

玄関・ホールを改装



改装で様相が変わったフロントとホール

レイクサイドクリニックの移転後のスペースに、事務関連の業務機能を集中する改装工事に伴い、旧事務所前のフロントも玄関の右側に移転しました。新しい事務スペースには、従来の事務監理部、相談室、営繕運転部、企画室が移転。旧事務室は当直室兼運転手詰所とし、効率的な施設運営を行うことになりました。また、レイクサイドクリニックへの通院は、さわやかホールの喫茶室内を横断するルートを廃止して、ホール前の廊下をクリニックの外付け回廊に直結する通路を新設し、フラットな床面の安全なルートが確保されました。



従来のフロントのスペースには、応接セットが配置されましたので、来客の応接、散策時行き帰りの休憩などにご利用ください。事務機能の移転に伴い、何かとご不便をかけると思いますが、入居者様・ご家族様のなご一層のご利用をお待ちしております。

←旧フロントを無くし応接セットが配置（玄関左側）

ギターとよし笛、奇術と玉すだれ。イベント多彩！



ギターと葦笛；ほっとらいんの演奏

4月18日(土)10時30分からさわやかホールで、平尾夫妻のアコースティックギターとよし笛の合奏が行われました。夫の平尾卓志さんがギター、妻の美季さんが琵琶湖の葦で作られたよし笛を演奏されました。また、長さ8cmの小さなオカリナという意味の「コカリナ」という木の笛の演奏も披露され、やさしい音色に思わず引き込まれました。

4月19日(日)14時から、さわやかホールで栗東迷術会の手品が披露されました。

南井嘉明さんほか一名の方の、箱からたくさんのお花を出したり、ボールをいろんな所から出したりする奇術の熱演に、大きな歓声と拍手が送られていました。

南井嘉明さんの熱演→



「トリオ Eです」のコンサート

4月26日(日)14時からご存じ坂井夫妻と他2名の方で行われました。坂井さんは全盲のハンディをものともしないみごとな笛の演奏を披露されました。



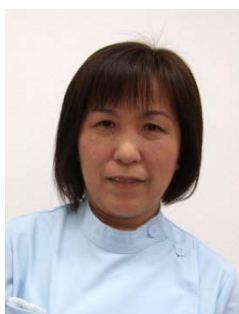
「十笑会」の妙技の披露

4月30日(木)14時から、片山勝義さんと13名の方で、南京玉すだれや手品、銭太鼓の出しものがにぎやかに行われ、妙技を堪能しました。

新入職員紹介



4月21日～3階CW
東原 龍一



5月1日～看護師
仲野 さちみ

全館、喫煙制限実施

かねてから懸案であった、施設全館での喫煙の制限を実施します。従来は、各階のエレベーター横のコーナーに設置されていた喫煙テーブルを5月11日で撤去します。喫煙コーナー前の居室の入居者様のご迷惑や、副流煙が与える健康被害を考慮し実施します。今後は、さわやかホールの喫煙テーブルで喫煙下さい。

療養病床の廃止に関する参考資料

2012年をもって、一部、治療上の必要性があると認められる療養病床を除き、介護保険が適用される療養病床は全廃されることが、国の定めた医療計画で決定されています。当然、大きな影響が懸念されますが、この問題の経緯を理解し、また、将来発生するであろう介護・福祉分野での波及効果を検討するための参考資料を、今月より同封の別紙でお手元に届けますので、何卒、ご一読をお願い申し上げます。(事務局)

編集後記

出不精を決め込んだ今年のGWも終わりを告げたが、お決まりのTV鑑賞で意外な拾いものがあった。アメリカ映画で特有の暴力描写で有名なかのコーエン兄弟が監督した、「ノー・カントリー」(2007年作品)という邦題の映画を観た。原題は“no country for old man”つまり、老人のための土地などない、という意味だが、老優になってしまった Tommy Lee Jones が演ずる定年間際の保安官の渋い演技に心打たれた。1980年代のテキサスでメキシコ人の麻薬密売グループが殺される事件が起きた。現場に置き去りにされた麻薬の購入資金が、ひょんなことでヴェトナム帰還兵の手に入る。マフィアの殺し屋がその金を追いかけて壮絶なバトルと非情な殺戮を繰り返す。劇中、退役した元保安官が「テキサスで緑色した髪の子が生まれ、鼻ピアスが流行る。皆が敬語を使わなくなって世の中変わってしまった。」と、伝統的価値観が消え、老人が住みにくくなった社会の様変わりやを嘆くシーンがある。<老人の住める土地は無い!>では、どうする?せめて地元滋賀県で、ここコンサルテが for old man な home になりたい、と思ったことであった。(K記す)